



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

東

上場会社名 セガサミーホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 6460 URL <http://www.segasammy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 里見 治
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理部長(氏名) 吉澤 秀男 (TEL) 03-6215-9955
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	207,004	△33.6	7,074	△89.0	8,469	△86.7	3,067	△91.1
24年3月期第3四半期	311,682	0.5	64,360	2.2	63,488	1.9	34,384	△6.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,291百万円(△95.0%) 24年3月期第3四半期 46,076百万円(5.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	12.54	12.51
24年3月期第3四半期	136.58	136.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	457,849	274,021	59.0
24年3月期	497,451	296,376	58.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 270,091百万円 24年3月期 293,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年3月期	—	20.00	—		
25年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	△19.1	15,000	△74.3	16,000	△72.5	12,500	△42.7	51.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は添付資料6ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	266,229,476株	24年3月期	266,229,476株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	24,606,201株	24年3月期	15,194,836株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	244,669,956株	24年3月期3Q	251,745,225株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
・当社は、平成25年2月6日にアナリスト向けの電話会議を開催する予定です。その説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(その他)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
売上高	310,103	311,682	207,004	△104,678	△33.6
営業利益	62,970	64,360	7,074	△57,286	△89.0
経常利益	62,334	63,488	8,469	△55,018	△86.7
四半期純利益	36,821	34,384	3,067	△31,316	△91.1
	円	円	円	円	%
1株当たり四半期純利益	145.28	136.58	12.54	△124.04	△90.8

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は欧州を中心とした世界的な金融市場の混乱や、新興国経済の減速の影響などにより、不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、遊技機業界におきましては、パチンコ遊技機の入替はやや低調に推移したもののパチスロ遊技機においては、パチンコホールでの稼働回復や設置台数の増加がみられ、引き続き市場が回復傾向にあります。

アミューズメント業界におきましては、主にプライズカテゴリーに牽引される形で市場が堅調に推移しておりましたが、今後の市場活性化に向けては、多様化する顧客ニーズに応じた、斬新なゲーム機の開発、供給等が期待されています。

家庭用ゲーム業界におきましては、欧米における厳しい経済環境の影響によって、主にパッケージゲームの需要が低調に推移いたしました。一方で、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)やスマートフォン向けなどのデジタルゲーム市場における需要がさらに拡大しており、このような市場環境の変化への対応が求められています。

このような経営環境のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,070億4百万円(前年同期比33.6%減)、営業利益は70億74百万円(前年同期比89.0%減)、経常利益は84億69百万円(前年同期比86.7%減)、投資有価証券売却益など特別利益22億87百万円を計上した一方で、米国子会社におけるのれんの減損損失や関係会社清算損など特別損失39億26百万円を計上した結果、四半期純利益は30億67百万円(前年同期比91.1%減)となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

《遊技機事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	167,903	177,599	74,053	—	—
セグメント間売上高	201	117	297	—	—
売上高合計	168,105	177,716	74,350	△103,366	△58.2
営業利益	54,666	67,495	7,797	△59,697	△88.4
	台	台	台	台	%
パチンコ販売台数	241,374	287,722	89,188	△198,534	△69.0
パチスロ販売台数	268,470	228,646	130,590	△98,056	△42.9

パチンコ遊技機事業におきましては、当第3四半期においてサミーブランド『ぱちんこCR 神獣王』やタイヨーエレクトリックブランド『CR 米米CLUB 大収穫祭』を販売いたしました。低調な市場環境を受けて、当第3四半期累計の販売台数は89千台と前年同期実績を下回りました。

パチスロ遊技機事業におきましては、当第3四半期においてサミーブランド『パチスロ攻殻機動隊 S.A.C.』を販売いたしました。一部タイトルの販売スケジュールを見直した結果、当第3四半期累計の販売台数は130千台と前年同期実績を下回りました。

以上の結果、売上高は743億50百万円（前年同期比58.2%減）、営業利益は77億97百万円（前年同期比88.4%減）となりました。

当第3四半期に販売を開始した遊技機の主要販売機種名及び販売台数

パチンコ遊技機

機種名	ブランド	販売台数
ぱちんこCR 神獣王	(サミー)	22千台
CR 米米CLUB 大収穫祭	(タイヨーエレクトリック)	5千台

パチスロ遊技機

機種名	ブランド	販売台数
パチスロ攻殻機動隊S.A.C.	(サミー)	18千台

《アミューズメント機器事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	38,454	34,089	30,634	—	—
セグメント間売上高	2,464	2,224	2,463	—	—
売上高合計	40,918	36,314	33,098	△3,215	△8.9
営業利益	8,458	5,058	2,615	△2,442	△48.3

アミューズメント機器事業におきましては、『WORLD CLUB Champion Football』シリーズのCVTキット及びカード等の消耗品の販売が堅調に推移いたしました。また、レベニューシェアタイトルによる配分収益が引き続き堅調に推移いたしましたが、大型タイトルの販売がなかったため、売上高は330億98百万円（前年同期比8.9%減）、営業利益は26億15百万円（前年同期比48.3%減）となりました。

アミューズメント機器の主要販売タイトル名及び販売実績

タイトル名		販売実績
「WORLD CLUB Champion Football」シリーズ	トレーディングカードゲーム	28億円
戦国大戦	トレーディングカードゲーム	19億円
StarHorse3 Season I A NEW LEGEND BEGINS.	メダルゲーム	16億円

※販売実績は、カード等の消耗品販売等を含んでおります。

《アミューズメント施設事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	34,589	33,989	32,070	—	—
セグメント間売上高	5	0	11	—	—
売上高合計	34,594	33,989	32,081	△1,907	△5.6
営業利益	817	1,253	984	△268	△21.4
国内アミューズメント施設数	店舗 252	店舗 247	店舗 237	—	—
(参考)	%	%	%		
セガ国内既存店舗売上高前年同期比	100.5	100.5	93.7	—	—

アミューズメント施設事業におきましては、前期に引き続き既存店舗の運営力強化を行いました。主にプライズカテゴリーに牽引される形で比較的堅調に推移した前年同期からの反動により、セガ国内既存店舗の売上高は、前年同期比93.7%と低調に推移いたしました。

国内においては、当第3四半期に1店舗の閉店を行った結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は237店舗となりました。

以上の結果、売上高は320億81百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は9億84百万円（前年同期比21.4%減）となりました。

《コンシューマ事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	66,938	63,571	60,385	—	—
セグメント間売上高	474	529	562	—	—
売上高合計	67,413	64,101	60,947	△3,153	△4.9
営業利益	2,811	△5,509	518	6,027	—
	万本	万本	万本	万本	%
ゲームソフト販売本数	1,363	1,260	694	△565	△44.9

コンシューマ事業におきましては、パッケージゲーム分野において国内向けタイトル『龍が如く5 夢、叶えし者』、海外向けタイトル『Sonic & All-Stars Racing Transformed』及び『Football Manager 2013』等の販売が堅調に推移いたしました。しかしながら前期末より実施している欧米での構造改革施策としてタイトル数を削減した影響により、パッケージ販売本数は、米国243万本、欧州294万本、日本157万本、合計694万本となり、前年同期実績を下回りました。

携帯電話・スマートフォン・PCダウンロード等のデジタルゲーム分野におきましては、7月よりサービスを開始したPCオンラインRPG『ファンタシースターオンライン2』の登録ID数が170万IDを突破し、引き続き課金収入も予想を上回る水準で推移いたしました。スマートフォンタイトルにおいては『ドラゴンコインズ』、『Kingdom Conquest』シリーズをはじめ、複数のタイトルを投入し、ラインナップの拡充を行いました。また、携帯電話・PC向けパチンコ・パチスロゲームサイトにおいては従量課金サービス等が堅調に推移したほか、スマートフォン対応版『777townSP』の取り組みを強化しております。

玩具事業におきましては、『ジュエルポッド ダイヤモンド』等の主力製品の販売が好調に推移いたしました。

アニメーション映像事業におきましては、劇場版『それいけ！アンパンマン よみがえれ バナナ島』の配給収入や映像配信などが好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は609億47百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は5億18百万円（前年同期は営業損失55億9百万円）となりました。

当第3四半期に販売を開始したゲームソフトの主要販売タイトル名及び販売本数

タイトル名	販売地域	プラットフォーム	販売本数
Sonic & All-Stars Racing Transformed	欧・米	PS3, Xbox360 WiiU, PSV	93万本
Football Manager 2013	欧・米	PC, PSP	73万本
龍が如く5 夢、叶えし者	日	PS3	58万本

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。詳細については、平成25年2月5日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産の減価償却方法は主として定率法を採用していましたが、大型の設備投資を計画したことを契機に、あらためてその実態を見直した結果、第1四半期連結会計期間より主として定額法に変更しております。

具体的には、遊技機の新工場及び流通センターの建設が安定した製品の製造と供給を目的としていることや、アミューズメント施設の不採算店舗の閉鎖が一巡したことでアミューズメント施設機器が概ね耐用年数内で安定して稼働すると見込まれることなどから、当グループの有形固定資産の稼働率が大きく変化しないこと、また、当グループにおいて修繕費等の設備維持費用も概ね平準化していること等を総合的に考慮して決定したものであります。

この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第3四半期連結累計期間の売上総利益が3,425百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4,229百万円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(会計上の見積りの変更)

当社及び国内連結子会社の有形固定資産の耐用年数は、従来、主として法人税法に規定する方法と同一の基準によっておりましたが、大型の設備投資を計画したことを契機に、あらためてその実態を見直した結果、第1四半期連結会計期間より耐用年数を変更しております。

具体的には、遊技機の新工場及び流通センターの建設や、アミューズメント施設の不採算店舗の閉鎖が一巡したことで、今後は製造設備やアミューズメント施設機器等の有形固定資産の物理的な利用期間、並びに有形固定資産の利用により発生する収益貢献期間等がより安定すると考えられるため、経済的耐用年数を総合的に考慮して決定したものであります。

この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第3四半期連結累計期間の売上総利益が531百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ826百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(修正再表示)

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	127,721	131,167
受取手形及び売掛金	73,554	48,515
有価証券	66,509	9,210
商品及び製品	6,677	7,765
仕掛品	6,992	9,299
原材料及び貯蔵品	20,890	31,450
その他	25,892	34,287
貸倒引当金	△593	△388
流動資産合計	327,645	271,308
固定資産		
有形固定資産		
土地	29,457	27,985
その他(純額)	48,716	59,559
有形固定資産合計	78,173	87,545
無形固定資産		
のれん	10,790	8,136
その他	10,517	13,702
無形固定資産合計	21,308	21,838
投資その他の資産		
投資有価証券	52,725	52,511
その他	18,838	25,876
貸倒引当金	△1,239	△1,231
投資その他の資産合計	70,324	77,156
固定資産合計	169,805	186,540
資産合計	497,451	457,849

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,917	39,866
短期借入金	10,194	14,876
未払法人税等	5,550	4,833
引当金	8,401	3,875
資産除去債務	199	179
その他	48,136	35,869
流動負債合計	132,398	99,500
固定負債		
社債	11,943	15,150
長期借入金	25,052	35,499
退職給付引当金	14,527	15,306
役員退職慰労引当金	293	140
資産除去債務	1,943	2,199
その他	14,916	16,031
固定負債合計	68,676	84,326
負債合計	201,075	183,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,953	29,953
資本剰余金	119,397	119,361
利益剰余金	175,173	168,368
自己株式	△26,067	△41,272
株主資本合計	298,456	276,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,872	15,210
繰延ヘッジ損益	—	5
土地再評価差額金	△4,541	△4,541
為替換算調整勘定	△19,681	△16,992
その他の包括利益累計額合計	△5,350	△6,318
新株予約権	991	1,168
少数株主持分	2,279	2,761
純資産合計	296,376	274,021
負債純資産合計	497,451	457,849

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	311,682	207,004
売上原価	170,731	128,197
売上総利益	140,951	78,806
販売費及び一般管理費	76,590	71,732
営業利益	64,360	7,074
営業外収益		
受取利息	262	375
受取配当金	494	751
持分法による投資利益	—	38
デリバティブ評価益	—	292
為替差益	—	953
投資事業組合運用益	409	74
その他	433	614
営業外収益合計	1,600	3,101
営業外費用		
支払利息	473	646
持分法による投資損失	10	—
デリバティブ評価損	195	—
社債発行費	125	141
為替差損	512	—
支払手数料	427	44
その他	728	873
営業外費用合計	2,473	1,705
経常利益	63,488	8,469
特別利益		
固定資産売却益	93	341
関係会社株式売却益	173	—
投資有価証券売却益	51	1,891
負ののれん発生益	836	—
その他	280	54
特別利益合計	1,435	2,287
特別損失		
固定資産売却損	2	2
減損損失	1,432	2,070
投資有価証券評価損	37	27
特許実施許諾解決金	3,500	—
関係会社清算損	—	1,787
その他	935	39
特別損失合計	5,907	3,926
税金等調整前四半期純利益	59,015	6,830
法人税、住民税及び事業税	24,242	3,560
法人税等合計	24,242	3,560
少数株主損益調整前四半期純利益	34,772	3,270
少数株主利益	388	202
四半期純利益	34,384	3,067

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主利益	388	202
少数株主損益調整前四半期純利益	34,772	3,270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,848	△3,662
繰延ヘッジ損益	0	5
土地再評価差額金	402	—
為替換算調整勘定	△1,944	2,613
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	64
その他の包括利益合計	11,303	△978
四半期包括利益	46,076	2,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,708	2,099
少数株主に係る四半期包括利益	368	192

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	遊技機事業	アミューズ メント 機器事業	アミューズ メント 施設事業	コンシューマ 事業	計	その他 (注)	合計
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	177,599	34,089	33,989	63,571	309,250	2,432	311,682
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	2,224	0	529	2,871	699	3,570
計	177,716	36,314	33,989	64,101	312,121	3,131	315,253
セグメント利益又は損失(△)	67,495	5,058	1,253	△5,509	68,297	286	68,584

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報提供サービス業などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	68,297
「その他」の区分の利益	286
セグメント間取引消去	△134
全社費用(注)	△4,089
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	64,360

(注) 全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	遊技機事業	アミューズ メント 機器事業	アミューズ メント 施設事業	コンシューマ 事業	計	その他 (注)	合計
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	74,053	30,634	32,070	60,385	197,144	9,860	207,004
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	297	2,463	11	562	3,334	641	3,975
計	74,350	33,098	32,081	60,947	200,478	10,501	210,979
セグメント利益又は損失(△)	7,797	2,615	984	518	11,916	△246	11,670

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、複合型リゾート施設事業、情報提供サービス業などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,916
「その他」の区分の損失	△246
セグメント間取引消去	△17
全社費用(注)	△4,579
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	7,074

(注) 全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産の減価償却方法は主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より主として定額法に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第3四半期連結累計期間の「遊技機」のセグメント利益が1,240百万円増加し、「アミューズメント機器」のセグメント利益が136百万円増加し、「アミューズメント施設」のセグメント利益が2,471百万円増加し、「コンシューマ」のセグメント利益が137百万円増加し、「その他」のセグメント損失が16百万円減少しております。

また、「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の耐用年数は、従来、主として法人税法に規定する方法と同一の基準によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より耐用年数を変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第3四半期連結累計期間の「遊技機」のセグメント利益が705百万円減少し、「アミューズメント機器」のセグメント利益が4百万円減少し、「アミューズメント施設」のセグメント利益が77百万円減少し、「コンシューマ」のセグメント利益が39百万円減少しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	29,953	119,397	175,173	△26,067	298,456
当第3四半期連結累計期間の変動額					
剰余金の配当			△9,851		△9,851
四半期純利益			3,067		3,067
自己株式の取得 (注1)				△16,214	△16,214
自己株式の処分 (注2)		△35		1,009	973
連結範囲の変動			△21		△21
当第3四半期連結累計期間の変動額合計	—	△35	△6,805	△15,204	△22,045
当第3四半期連結会計期間末残高	29,953	119,361	168,368	△41,272	276,410

(注) 1 主な内容は、平成24年5月31日開催の取締役会決議による自己株式16,192百万円(10,000,000株)の取得であります。

なお、本決議の概要は以下のとおりであります。

- (1) 取得する株式の種類 普通株式
- (2) 取得する株式の総数 10,000,000株(上限とする)
- (3) 株式の取得価額の総額 17,000百万円(上限とする)
- (4) 取得する期間 平成24年6月7日から平成24年9月28日まで

2 主な内容は、ストックオプションの権利行使による自己株式1,007百万円(600,700株)の譲渡であります。